

宇宙教育シンポジウム2025

JAXA宇宙教育センターの活動概要について

2026年2月7日
X-NIHONBASHI TOWER
JAXA宇宙教育センター長 谷垣文章

宇宙教育センターの宇宙教育の理念と目標

宇宙の謎は好奇心や想像力をかきたて、人類の宇宙への挑戦過程は冒険心を刺激します。科学への関心を深めるきっかけとなる「**好奇心**」や「**冒険心**」、また関心の対象を追求するための手段を作る「**匠の心**」は、子どもたち誰しもが持っています。この3つの心といったん火がつけば、大人が手助けせずとも**自らその探究心を駆使して知識や経験の輪を広げていきます**。宇宙教育センターは、宇宙を素材として、「**いのちの大切さ**」を基盤とした3つの心を大切にし、**未来社会を切り拓く人材育成に貢献**するため、2005年に設立されました。



宇宙が子どもたちの心に火をつける



<https://edu.jaxa.jp/>

< **JAXAの第5期中長期目標(2025~2031年度)** >

「**次世代を担う人材育成への貢献**」

未来社会を切り拓き、急速な情報化や技術革新、グローバル化等の社会変化に適応できる人材を育成する。具体的には、機構の研究開発を通じて得た**成果や知見を広く教育の素材として活用し**、幅広い層の学習者と学習支援者に対して、学校教育支援、社会教育活動支援及び体験的な学習機会の提供を行うことで、**宇宙航空分野への興味関心を増進するとともに、多角的なものの見方・考え方や自律的、主体的、継続的な学習態度等を醸成する。**

宇宙教育センターの宇宙教育の理念と目標

宇宙の謎は好奇心や想像力をかきたて、人類の宇宙への挑戦過程は冒険心を刺激します。

科学への関心を深めるきっかけとなる「好奇心」や「冒険心」、また関心の対象を追求するための手段を作る「匠の心」

本日のシンポジウムでは、今後の宇宙教育の取り組みの方向性や施策を検討するために、宇宙教育を実践されている皆様とそれぞれの課題を共有し、JAXAへの期待や要望をお伺いしたいと思います。

いったん火がつけば、大人が手助けせずとも自らその探究心
センターは、宇宙を素材として、「いのちの大切さ」を基盤と
に貢献するため、2005年に設立されました。



宇宙が子どもたちの心に火をつける



<https://edu.jaxa.jp/>

<JAXAの第5期中長期目標(2025~2031年度)>

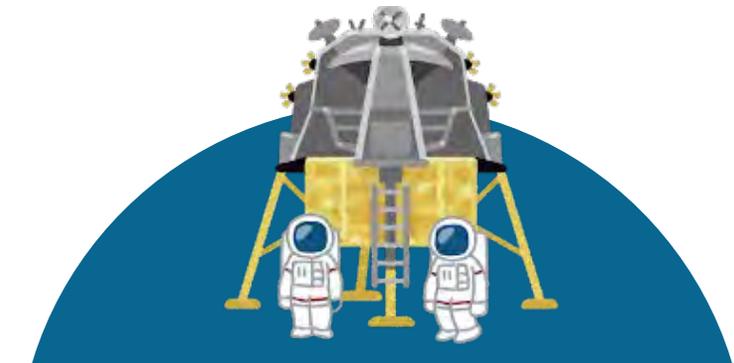
「次世代を担う人材育成への貢献」

未来社会を切り拓き、急速な情報化や技術革新、グローバル化等の社会変化に適応できる人材を育成する。
具体的には、機構の研究開発を通じて得た成果や知見を広く教育の素材として活用し、幅広い層の学習者と学習支援者に対して、学校教育支援、社会教育活動支援及び体験的な学習機会の提供を行うことで、宇宙航空分野への興味関心を増進するとともに、多角的なものの見方・考え方や自律的、主体的、継続的な学習態度等を醸成する。

3種類の宇宙教育



教科
として
理科の中で
宇宙を学ぶ



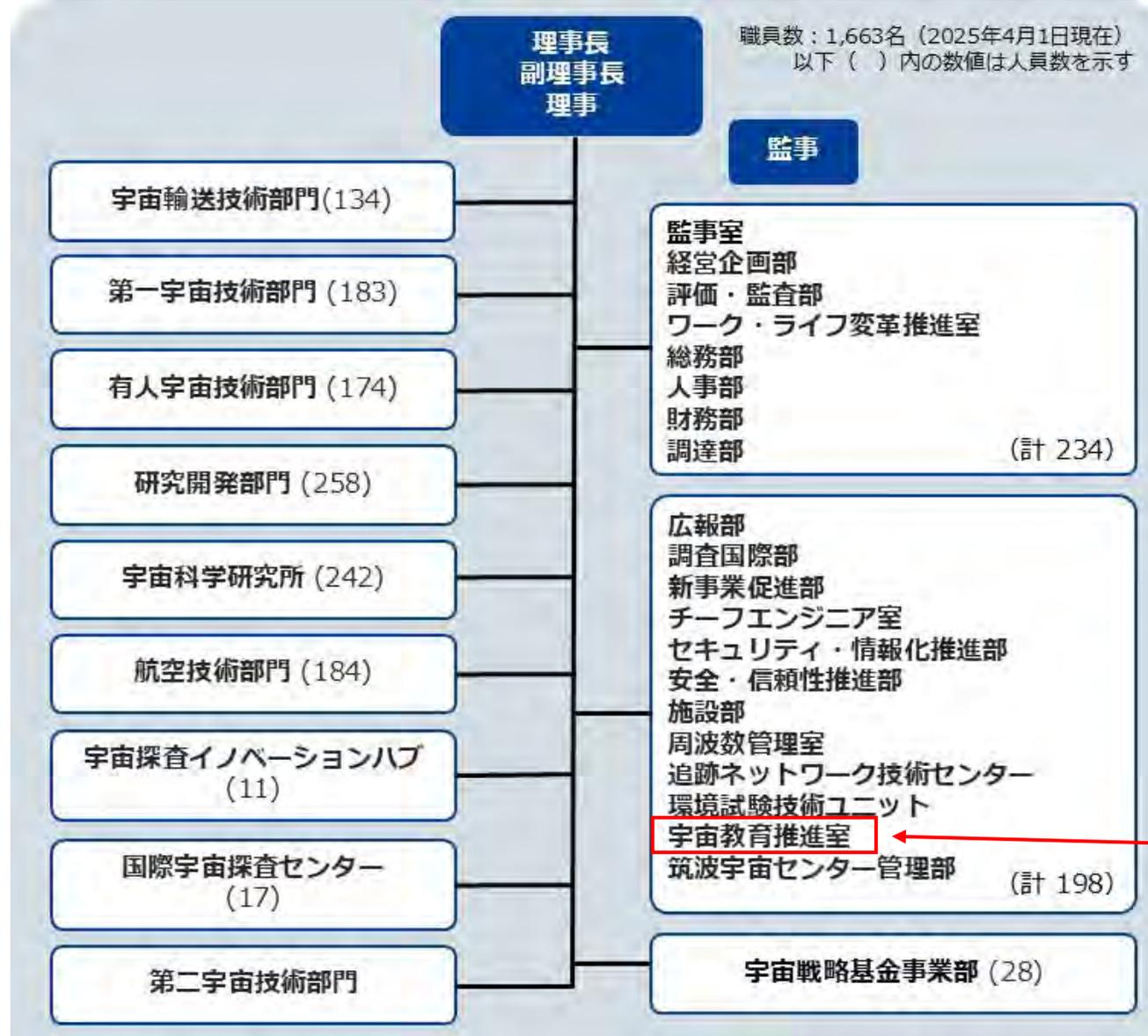
後継者育成
として
宇宙開発の担い手を
育てる



教育手法
として
心豊かな
青少年の育成

宇宙教育センターが主として
目指してきた宇宙教育

宇宙教育センターの組織上の位置づけ

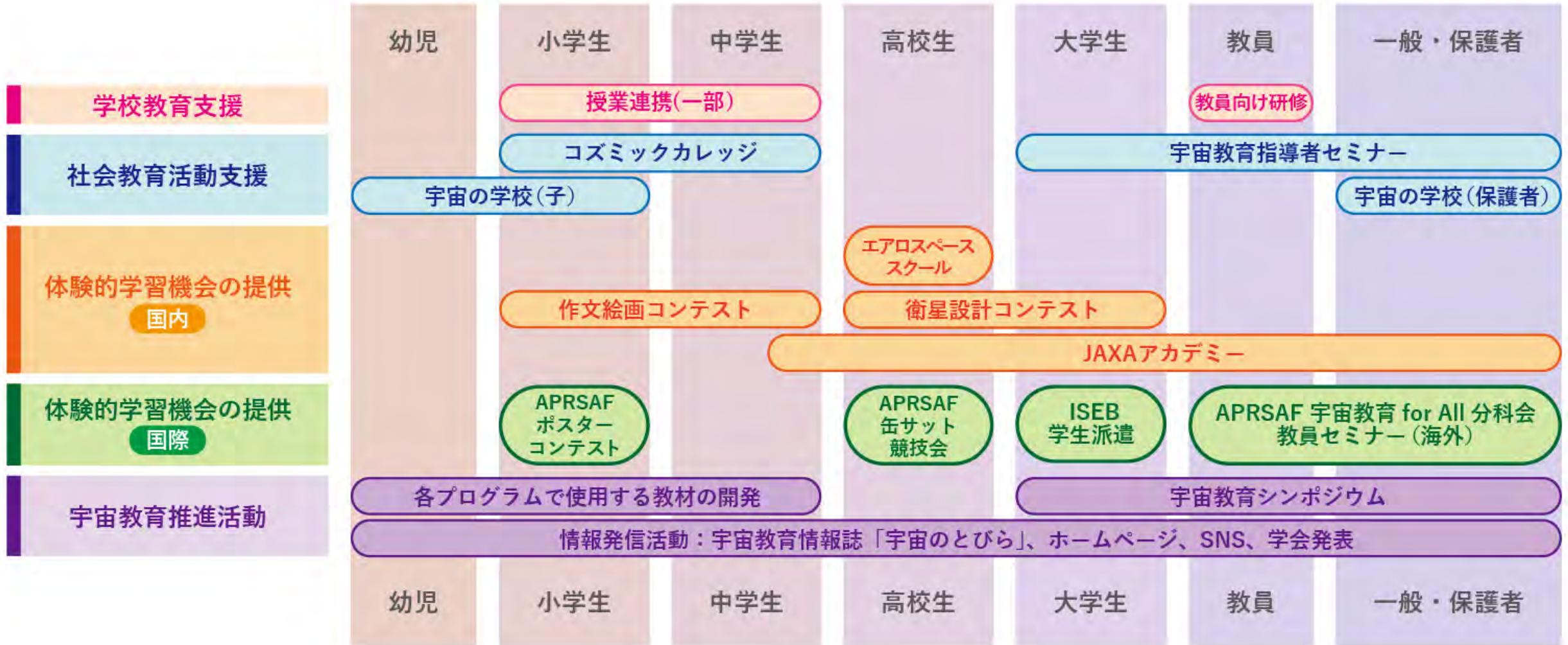


JAXA内の各部門も、それぞれの事業に関して、教育的・人材育成的側面のあるプログラムを実施しています。

(例えば、有人宇宙技術部門が実施する国際宇宙ステーションでのロボットプログラミング競技会や宇宙実験コンテストなど。)

「宇宙教育センター」
JAXAの部署名は、宇宙教育推進室。
所在地は、JAXA相模原キャンパス。

宇宙教育センターの2025年度教育プログラム



各プログラムにおける多様な連携先

	主なプログラム	連携先
学校教育	授業連携（一部のみ実施）	教材開発も兼ねて協力校と実施
	教員向け研修	共催型の場合、教育委員会・大学等
社会教育	コズミックカレッジ	実施主体：教育委員会、科学館、公民館、PTA、NPO法人等
	宇宙の学校®	子ども・宇宙・未来の会(KU-MA)
	宇宙教育指導者セミナー	日本宇宙少年団(YAC)、KU-MA
体験的学習機会	エアロスペーススクール	JAXA各事業所
	JAXAアカデミー	JAXA各部門・プロジェクト、大学等
	「宇宙の日」作文・絵画コンテスト	共催（YAC）、後援（文科省、内閣府）
	衛星設計コンテスト	日本宇宙フォーラム（JSF）など8機関と共催
国際協力	APRSAF教育分科会（ポスターコンテスト、缶サット競技会、教員セミナー）	アジア太平洋地域の約15か国の海外機関と連携。 缶サット競技会運営は宇宙甲子園および海外機関と協働。
	ISEB国際宇宙教育会議（学生派遣プログラム）	NASA, ESA, CSAなど7海外機関
推進活動、 情報発信など	各教育プログラムで使用する多様な教材の開発	教材開発のための実証協力校、大学、YACなど
	宇宙教育シンポジウム	
	宇宙教育情報誌「宇宙のとびら」製作	YAC（発行編集協力）、ラインズeライブラリ（デジタル版配信）
	ホームページ、SNS等での情報発信	
	外部機関と連携した教育イベント（不定期開催）	自治体、民間企業など
	教材提供、情報提供	文科省「たのしくまなび隊」、JST「サイエンステーム」

1. 目的

教育現場で先生たちが「**宇宙を素材**とする授業」を実践できるよう
様々な支援活動を行う。

※理科に限らず、社会・国語・芸術など**様々な教科**に対応。
総合学習、課外活動等も含む。

2. 主な事業

➤ 教員向け研修

⇒ 幼保・小・中・高の先生や教員養成課程の大学生等

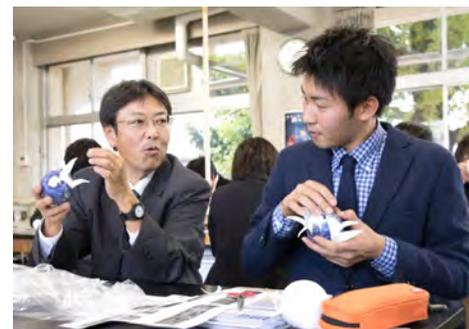
➤ 授業連携

⇒ 「宇宙」の視点を加わえた授業づくり

➤ 教材開発

⇒ カリキュラム補完型教材「宇宙で授業パッケージ」

⇒ デジタル教材「ルナクラフト」 など



宇宙で授業パッケージ
中学校 道徳A
単元「真理の探究、創造」

各種教育教材

宇宙で授業パッケージ(学校教員向け)

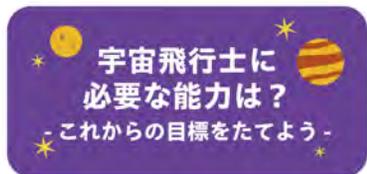
- ・学習指導要領に準拠
- ・動画、指導案、授業資料をセットに



道徳(中1~中3)



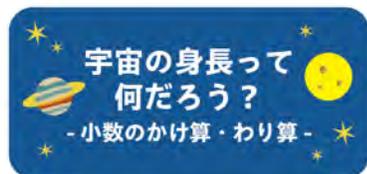
社会(小5)



特活(小5~中3)



理科(小4)



算数(小5)



美術・図工(小4)



国語(小6)



生活科(小2)



<https://edu.jaxa.jp/activities/materials/>

宇宙教育教材(汎用)

- ・学校向け、社会教育向け、親子教材
- ・**284件**を提供中 (英語版もあります)



<https://edu.jaxa.jp/materialDB/>

1. 目的

全国各地で青少年教育活動を実践する方々が、
「宇宙教育」を実施していくための活動支援を行う。

2. 主な事業

- **体験型教室「コスミックカレッジ」**
⇒活動プログラムの提案／教材教具の提供貸し出し
(2024年度は155件実施、5,546人が参加)
- **宇宙教育指導者セミナー**
⇒宇宙を素材とした社会教育活動を地域で実践する方のための、
必要なスキルを学ぶ講習会。(共催:JAXA、YAC、KU-MA)
- **宇宙の学校®**
⇒家庭教育支援活動。(運営:KU-MA)
1年間に複数回行われるスクーリングと、家族で取り組む
家庭学習によって構成



体験的学習機会の提供(国内)

1. 目的

様々な年齢層に体験的学習機会を提供する。

2. 主な事業

➤エアロスペーススクール:高校生向け

⇒JAXAの事業所(大樹・角田・筑波・調布等)を会場に、高校生がチームで協力して「宇宙・航空ミッション」に取り組む宿泊型プログラム。

➤JAXAアカデミー:高校～大学教養レベル

⇒宇宙航空分野について学び、自己のあり方や進路を考える機会を与えることを目的としたWeb講座。いつでも誰でも視聴可能。

➤衛星設計コンテスト:高校生・大学生向け

⇒宇宙空間を使う新しいアイデアを考え、そのアイデアを実現する小型衛星を設計するコンテスト。

➤「宇宙の日」記念作文・絵画コンテスト:小・中学生向け

⇒全国の科学館が窓口となり、宇宙航空分野に対する夢や希望を喚起させるSTEAM教育プログラム。



1. 目的

- 宇宙機関間の国際協力事業として「青少年教育」分野を担う
- 「宇宙を素材」とした国際教育活動の推進
- 将来を担うグローバル人材の育成

2. 国際協力の2つの枠組み



① アジア・太平洋地域宇宙機関会議 宇宙教育for ALL分科会 (APRSAP SE4AWG)

Asia Pacific Regional Space Agency Forum,
Space Education for All Working Group

ポスターコンテスト(小中学生。2025年は15か国が参加)、
缶サット競技会(高校生)、教員セミナー等を実施し、
年次会合で協議・情報交換。



② 国際宇宙教育会議 (ISEB)

International Space Education Board

JAXAを含むNASA,ESAなど8機関が加盟。
学生派遣プログラム(大学生、大学院生が対象)を実施。
アルテミス世代に向けた教育教材等を作成。



宇宙教育情報誌「宇宙(そら)のとびら」

- 青少年(主に小学生、中学生)向けに、宇宙航空の最新情報だけでなく、そこで働く人々の記事など多様な情報を提供
- 年4回発行(6月末、9月末、12月末、3月末)、ソラトビ手帳(12月)
- 全国の科学館、公共図書館、学校図書館などに冊子版を配付
- JAXAウェブサイトから無料で購読・ダウンロード可能
(一部の学校ではタブレットで購読可能(ライズeライブラリアドバンス))



<https://edu.jaxa.jp/soratobi/>

そら
宇宙のとびら 第74号 (2026年冬号)



2025年12月22日(月)ウェブ公開しました!
PCの場合、目次のタイトルをクリックすると該当ページに移動できます。

目次

特集 油井亀美也宇宙飛行士がISSで大活躍!

宇宙時事通信

宇宙機まんが そら☆とも 探偵! H3ロケット6号機(30形態試験機)

宇宙にいとむ人々

夢をかなえる先輩たち

みんなでやってミッション! 楽しい切り絵を作ろう!

JAXA通信/KU-MA通信

YAC宇宙教育活動レポート

そらとび天文台 1~3月の星空 3月3日は皆既月食/ブラックホール

はじめから読む
PDF (28.9 MB)

創刊号から全て
ダウンロードできます!

宇宙のとびら 最近のバックナンバー



宇宙教育センターの情報を入手するには



③ インスタグラム

https://www.instagram.com/spaceedu_jaxa/



① ホームページ

<https://edu.jaxa.jp/>



④ YouTube

<https://www.youtube.com/@JAXA-spaceedu>



② X

https://x.com/spaceedu_info

